

平成20年度第4回(第7期第1回)浦安市廃棄物減量等推進審議会(議事要旨)

1 **開催日時** 平成21年3月30日(月) 午前10時~午前12時

2 **開催場所** 議会棟1階 第2会議室

3 **出席者**

(委員)

横山会長、服部副会長、助川委員、神野委員、奥井委員、前野委員、芝田委員、
内田委員、山口委員、吉田委員、武田委員、梨本委員、加納委員、牧野委員

(事務局)

市長、古賀部長、押尾次長、恒松クリーンセンター長、吉田クリーンセンター
次長、永井課長、花田リーダー、毎田主任主事

4 **委嘱状交付式**

(1) 委嘱状の交付

(2) 市長挨拶

(3) 委員紹介及び事務局紹介

5 **議 題**

(1) 浦安市の廃棄物の現状と課題について

6 **議事の概要**

(1) 浦安市の廃棄物の現状と課題について報告

7 **会議経過**

市長より委嘱状の交付及び挨拶後、委員紹介並びに事務局の紹介をおこなった。
出席された委員より会長、副会長の選出を行なった。各委員の自己紹介後、会長が
議事を進行した。

事務局から「浦安市の廃棄物の現状と課題について」の説明を行い、委員より意見
及び質問を受けた。その際の意見及び質問と事務局の回答は次のとおり。

・会 長 それでは、審議会の抱負や質問なども含めご意見をいただきたいと思います
います。よろしく願います。

・委 員 私は、戦中戦後の生まれですので、もったいない精神を生かして今後

も取り組んでいきたいですね。

- ・委員 事業者として昨年度から、ごみの減量、資源化、レジ袋の削減、エコバッグの販売に取り組んでいる。また、みなさんのご意見、ご指導を仰ぎながら今後の事業にも取り入れていきたい。
- ・委員 市民の皆さんに胸を張ってごみ減量、再資源化に取り組んでいると言われるように取り組んでいきたい。
- ・委員 小学生たちもクリーンセンターに行き、環境学習し、意識付けをしている。どの教科書を見ても環境問題は当たり前で、リサイクルも当たり前前となっている。しかし、リサイクルする前にごみの発生抑制にシフトしなければならない。ごみの減量についても小学生のうちから意識付けをしなければならない。
- ・委員 家庭ごみや事業ごみについて日常生活の主婦の目線からもたくさん情報を提供していきたい。
- ・委員 浦安市はこんなにごみ減量について取り組みが進んでいるのかと驚いた。この会議で勉強し、出た結果を家庭や事業に取り入れていきたい。また、会議資料なども工夫し、ごみの削減に取り組んでいる。
- ・委員 以前、建設廃棄物の再利用などをいろいろ研究していた。浦安市のリサイクル率の少ないことが少し印象に残った。
- ・委員 以前、市のほうで江戸時代のリサイクルについて説明してもらった。江戸時代はすべてのものをリサイクルして全部使っていた。そこには、行政の指導は全く無かったとのこと。ごみを出す人とリサイクルする人が一体となって循環し取り組んでいた。現在では、ごみを出す人と処理をする人の意識の違いが関係しているのではないか。そこで、私たちがこの審議会で情報を共有し、ごみを出さない、資源を無駄にしないとい

うもったいない精神で取り組み、次の世代の方たちに手間のかからないように繋いでいきたい。

・会 長 事務局より説明していただいた内容についてわからないことも多々あると思います。是非詳しく説明してほしいものがあれば、次回の会議までに事務局に要望など報告していただきたいと思います。

・会 長 現在、プラスチック容器包装が課題になっているところですが、その点につきましてもクリーンセンターやリサイクルプラザなどにも係わってくる場所ですので、皆さんで協力しながら市の事業の方にもリンクして進めていきたいと思っています。

続いて事務局より挨拶を行い、終了となった。